

指定管理者実績評価表（令和7年度実績）

生涯スポーツ課

施設名	スポーツ9施設 袖ヶ浦体育館、東部体育館、袖ヶ浦テニスコート、実籾テニスコート、秋津テニスコート、芝園テニスコート・フットサル場、秋津サッカー場、秋津野球場、茜浜パークゴルフ場
指定管理者	公益財団法人習志野市文化スポーツ振興財団
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日

特記事項	総合評価
・施設の安全・安心な運営、点検チェックなど快適なスポーツ施設の運営に取り組んでいる。 ・施設の修繕、周辺環境の整備では、職員を育成し経費節減や迅速な対応に努めていた。 ・繁忙期や夜間業務における職員の増員や施設整備による利用制限の影響もあり、今期の収支はマイナスとなっている。 ・指定管理者独自の取り組みとして、スポーツと文化を融合したイベントを自主事業として実施した。 ・災害時の各施設でのマニュアルの確認や避難訓練なども企画だけではなく、消防団協力事業所としても登録し、行政との連携に努めていた。 ・スポーツプログラマーや保健体育の免許取得者が様々なスポーツ事業で初心者指導を行い、スポーツの推進に貢献している。 ・アンケート等を踏まえ、3世代など幅広い方々が参加できるような自主事業（パークゴルフ交流会など）を企画しており、「する」スポーツの振興に努めていた。 ・デジタルサイネージを採用し、多様な情報の発信に努め、利用しやすい受付案内に取り組んでいる。 ・熱中症アラートが発令された場合には終日（夜間を含む）無料で対応し、利用者の満足度を高めるよう努めていた。 ・テニスコートでサマータイムを実施し、利用者の意見を意欲的に取り込んでいるほか、照明設備のない施設の有効利用を図っている。 以上のことから、施設管理、安全対策、サービス向上において、良好な経営がなされている。その一方で経営状況については一定の課題が見受けられることから、必要に応じて協議書に基づき事業計画や指定管理料の見直しについて指定管理者と協議していく。	A

区分	項目	評価観点	個別の評価
Ⅰ 市民の 平等な 利用の 確保	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	A
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A
Ⅱ 管理を 安定して 行う物 的能力、 財政的 能力及 び人的 能力の 保有	1 施設管理、安全対策の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A
		2 備品が適切に管理されているか。	A
		3 清掃業務において、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	A
		4 警備業務において、安全で安心感のある環境を確保しているか。	A
		5 外構施設の保守点検において、安全性が確保され、良好な機能が保持されているか。	A
		6 植栽・樹木等の維持管理において、利用者が快適に過ごせるような景観が保たれているか。	A
		7 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A
		8 地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A
	2 経済的（経営・収支・資産等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	B
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A
	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A
	4 個人情報の保護措置	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A

区分	項 目	評 価 観 点	個 別 の 評 価	
Ⅲ 当該施設の 効用を最大限に 発揮させる能力 及び経費の縮減	1 サービス向上及び利用者の増加等、施設の効用を最大限に発揮させる取り組み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A+	要求水準を上回る
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	A	要求水準
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	A+	要求水準を上回る
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。（研修計画は適切であったか。）	A	要求水準
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A+	要求水準を上回る
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫等はあるか。	A	要求水準
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A+	要求水準を上回る
	2 管理運営経費の縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	要求水準
		2 収支がプラスになっているか。	B	要求水準だが一部課題がある
		3 事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。（当初収支計画と実態の相違）	A	
		4 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。	A	
利Ⅳ 用施 状設 況の	1 施設の利用実績	1 施設利用者延べ人数	A	要求水準
		2 施設利用者一日平均人数	A	
V そ の 他	1 市民（利用者）から寄せられた具体的意見	1 寄せられた苦情の具体的事例及び対応	A	
Ⅵ 個 別 事 項	1 生涯スポーツに係る普及・育成（利用者の拡大）	1 初心者等に指導できる体制が整っているか。	A	
		2 各種のスポーツ振興への積極的な協力ができているか。	A+	要求水準を上回る
		3 魅力的な自主事業を実施しているか。	A	要求水準
		4 する・みる・支えるスポーツを実践しているか。	A+	要求水準を上回る
		5 安定的な職員配置が出来るように職員の待遇が配慮されているか。	A	要求水準
		6 乳幼児、児童、障がい者、高齢者など多様な利用者の利用に対して配慮されているか。	A	

評価段階：A＋～C	A＋（要求水準を上回る）の数	6
※要求水準とは、協定書・仕様書及び事業計画書において求める運営管理の水準。	A（要求水準と同等）の数	34
	B（要求水準だが一部課題がある）の数	2
	C（要求水準に至らない）の数	0